西 山 森 林 整 備 構 想

つなげたい　みどりの西山　未来の子らへ

平成１８年２月　策定

平成２７年４月　改定

令和　７年４月　改定

西山森林整備推進協議会

長岡京市の古い歴史と伝統は心にうるおいを与え、西山の豊かな緑は明日への英気を養ってくれます。

この恵まれた歴史と自然を生かし、みんなが力を合わせて生きがいのあるまちをつくるために、この憲章を定めます。

わたくしたち長岡京市民は、

1．緑と水を大切にして、健康で美しい環境のまちをつくりましょう。
2．明るい笑顔と助け合う心を大切にして、住みよいまちをつくりましょう。
3．学ぶ心と歴史遺産を大切にして、文化の豊かなまちをつくりましょう。
4．働く喜びと家庭のうるおいを大切にして、産業とくらしの調和のとれたまちをつくりましょう。
5．平和と人権を大切にして、心のふれあうまちをつくりましょう。

昭和 52 年 11 月 3 日制定

キャッチコピーの優秀作品

■ **最優秀賞**　つなげたい　みどりの西山　未来の子らへ

説明：美しい西山を市民みんなの手で守り育て、新しい世代へ引き継いでいこう

札幌市　小　寺　光　雄さん

□ **優秀賞**　残そう西山の自然　子供の夢・未来

説明：西山の自然を通じて、次世代の子供たちに夢や未来が豊かに育まれることを訴えています

久留米市　二　俣　浩　二さん

□ **優秀賞**　里山　西山　恵みの山

説明：言葉にリズムをあたえ、西山を表現した

京都市　鳥　居　万　恭さん

目　　次

構想の改定にあたって ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

１　西山森林整備構想について

１−１　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
１−２　西山について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
１−３　西山の森の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
１−４　森林整備構想作成の背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
１−５　森林整備構想の改定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
１−６　森林整備構想改定の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
１−７　森林整備構想の対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

２　森林整備計画

２−１　森林整備の目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
２−２　森林整備計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
　　付属資料　森づくりイメージ図・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
２−３　基盤整備計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
２−４　環境教育（次世代教育）の場としての整備計画・・・・・・・・・１９
２−５　広報・啓発活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

３　実行への手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

４　役割分担・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２

図　森林整備実績（平成 16 年度～令和 6 年度）

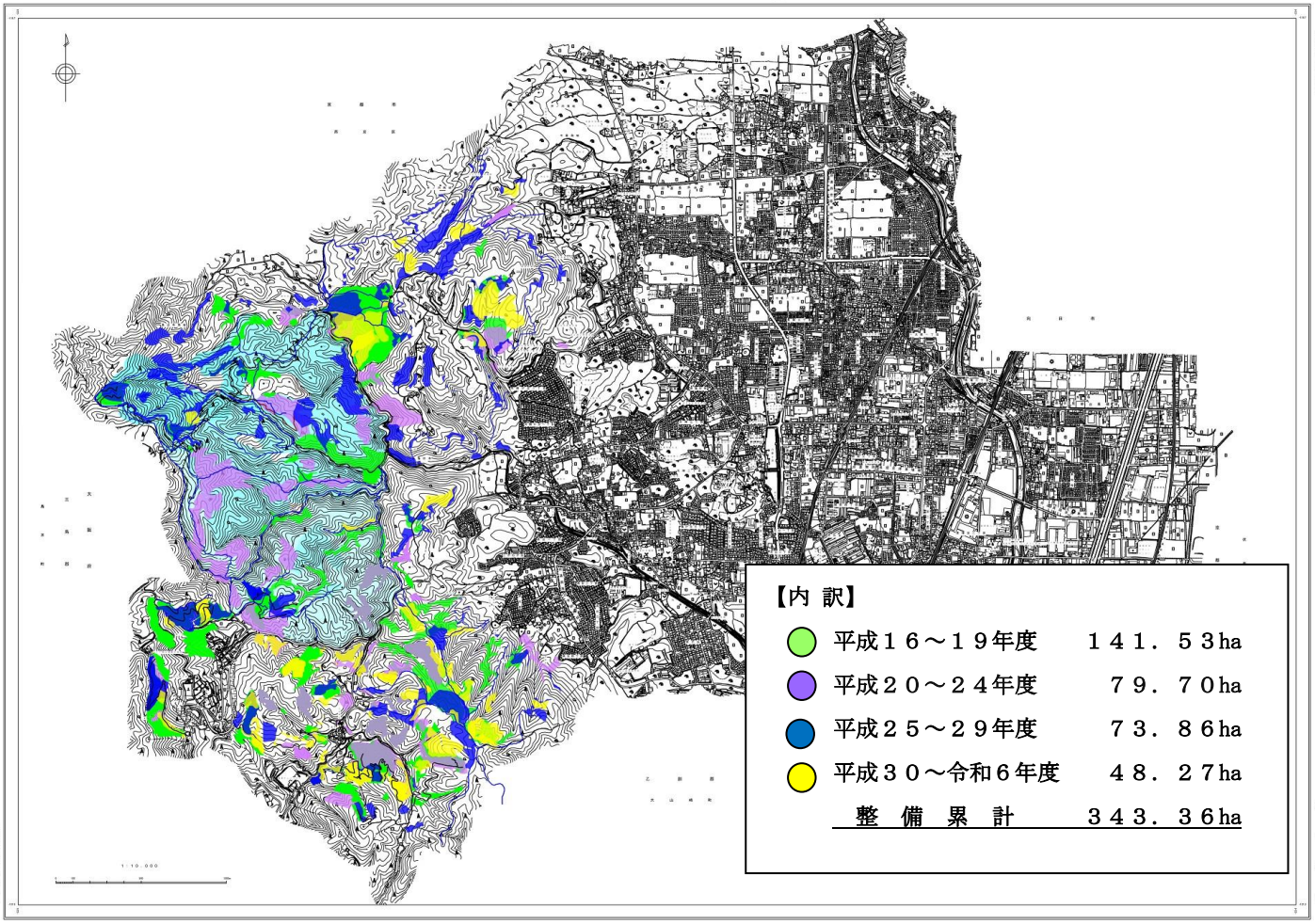


表　森林整備割合（林種別）

■森林整備実績(H16～R6)　　単位:ヘクタール

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
人工林	25.33	0.42	58.30	32.87	4.14		1.71	14.74	7.30	7.06	13.56
二次林		8.76	7.81	6.96	13.36	15.28	9.96	2.65	3.30	9.69	6.24
竹林			0.66	0.42	0.10	2.29	0.49	1.17	3.21	3.26	0.64
整備面積合計	25.33	9.18	66.77	40.25	17.6	17.57	12.16	18.56	13.81	20.01	20.44

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人工林	6.66	2.99	5.29	2.68	1.35	1.49	1.92	6.68	5.93	3.31
二次林	2.76	3.32	5.70	2.22	2.83	2.24	4.83	1.53	1.00	1.33
竹林	2.70	1.93	2.06	1.19	1.37	1.48	1.17	1.36	1.15	1.21
整備面積合計	12.12	8.24	13.05	6.09	5.55	5.21	7.92	9.57	8.08	5.85

■森林整備の進捗率　　単位:ヘクタール、%

	総面積	整備面積	整備割合(%)	整備面積 (重複を除く)	重複を除いた 整備割合(%)
人工林	127.14	203.73		123.77	97.35%
二次林	482.58	111.77		97.13	20.13%
竹林	164.75	27.86		27.86	16.91%
合計	774.47	343.36	44.33%	248.76	32.12%

＊総面積は、令和6年度版京都府林業統計から引用。竹林面積に農地を含まない。

構想の改定にあたって

長岡京市の象徴たる西山は、豊かな自然と歴史を今に伝える、かけがえのない財産です。西山森林整備推進協議会は、市民の皆様にとって、より「身近に感じ、訪れ、そして親しめる西山」を目指し、平成１７年に設立されました。

以来、地元の皆様、ボランティア団体、関係企業、大学、行政など、多くの関係者の皆様にご尽力いただき、明るい西山、入り込みやすい西山の実現に向け、道の整備、森林の受光伐、放置竹林の間伐など、様々な整備に取り組んでまいりました。この２０年間で、対象区域（約７７４ha）のおよそ４４％の整備を達成できたことは、ひとえに皆様の熱意と努力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

しかしながら、森林は常に変化を続けるもの。これまでの整備で一定の成果を収めた一方、新たな課題も見えてきました。そこで、協議会発足２０年目という節目を迎え、この度、西山森林整備構想を改定する運びとなりました。

今回の改定では、これまでの整備の成果と課題を検証し、今後の西山のあるべき姿を展望した上で、新たな方向性を示しました。特に、近年注目されている「木竹資源の利活用」については、具体的な計画を盛り込みました。間伐などで発生する木材や竹材を、有効に活用することで、資源循環型の持続可能な社会の実現に貢献するとともに、長岡京市産材の利用促進による経済効果、温室効果ガス削減効果も見込んでおります。

長岡京市にとって、西山はかけがえのない宝です。この美しい自然を未来へと繋いでいくためにも、今後とも、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

西山森林整備推進協議会
会　長　　徳地　直子

１西山森林整備構想について

１-１はじめに

この整備構想は、「長岡京市緑の基本計画」の主要プロジェクトである「西山総合保全プロジェクト」や「長岡京市環境基本計画」「長岡京市森林整備計画」などの西山の森に関係する指針や基本計画に基づき、西山の森の整備や保全を総合的に考え進めていくための指針を示すとともに、実施への手順と役割を明らかにします。

また、この構想の見直しに当たり、平成１８年に策定した整備構想に基づきこれまで進められてきた森林整備等についての検証を深め、その内容に更なる検討を加え、より良い西山の整備を目指します。

西山森林整備推進協議会
イメージキャラクター
「めじろ先生」

１-２西山について

西山は、京都盆地の西を南北に走る山なみで、広くは愛宕山・嵐山を含み、天王山に至ります。西山連山には、標高は６７９メートルの加茂勢山（ポンポン山）、標高２７０メートルの天王山があります。その前景には、標高２３０メートルの野山があり、江戸時代には「奥山」と呼ばれ、石灰が採取され、松茸がとれる豊かな山でした。

長岡京市域の西には、標高３００メートル以上の山頂小起伏面が重なり、ＮＴＴ柳谷無線中継所の付近は４００メートル前後です。

山麓部は急斜面で開発が難しく、近郊緑地保全区域に指定されていることにより、多くの森林が残り、多様な動植物が生育するなど、本市の貴重な緑の資源であるとともに本市の代表的な景観となっています。また、乙訓地域の農地を支える重要な役割を果たしています。

この西山連山から育まれる地下水は、古くから豊かで良質な水源として「天王山・西山水系」と称されています。

１‐３西山の森の特徴

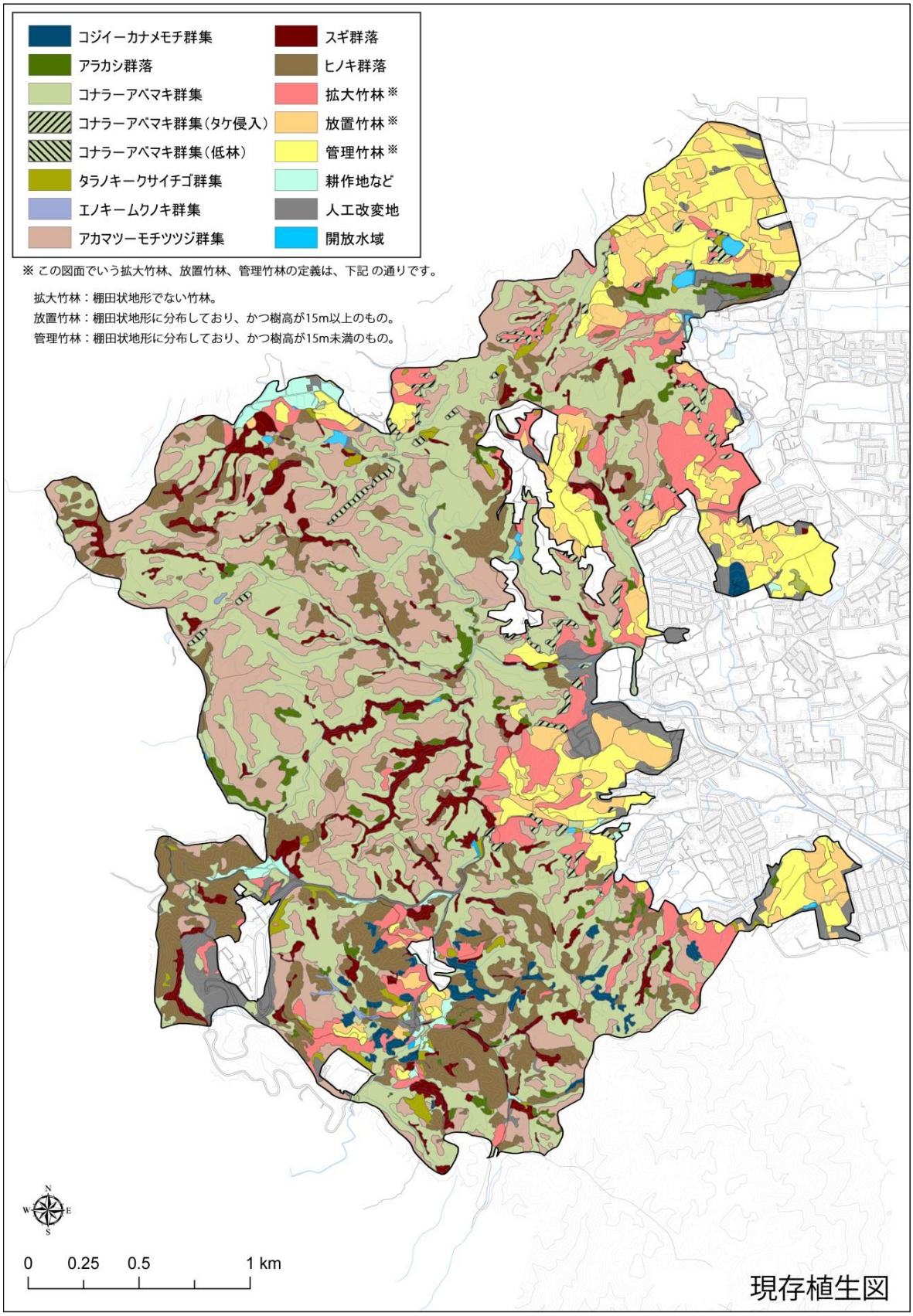
西山の山麓には現役の管理竹林があり、京のブランド野菜の一つである京タケノコが生産されています。

一方、奥山には薪炭林として利用されてきた二次林が広がっており、コナラ・クヌギ・ナラガシワなどの落葉広葉樹や、アカマツなどの針葉樹が混生した豊かな自然が残されています。また、長岡京市東南部(浄土谷地域)には、ヒノキやスギの人工林が広がっています。

都市近郊の数少ない森林レクリエーション空間として、幅広い利用も行われており、多くの散策者や入り込み利用者が訪れています。

かつて「長岡京」という都が置かれた歴史上の要所として、周辺には数多くの史跡や名勝が点在し、光明寺一帯にはビャクシン、ケヤキ、エノキ、ムクロジなどの大径木がみられるなど、貴重な自然環境と歴史観光資産の宝庫です。

※ 二次林とは…原生林（一次林）が、伐採や火災などによって失われた後に、
自然または人為的に再生した林。


コジイーカナメモチ群集
アラカシ群落
コナラーアベマキ群集
コナラーアベマキ群集（タケ侵入）
コナラーアベマキ群集（低林）
タラノキークサイチゴ群集
エノキームクノキ群集
アカマツーモチツツジ群集
スギ群落
ヒノキ群落
拡大竹林※
放置竹林※
管理竹林※
耕作地など
人工改変地
開放水域
※ この図面でいう拡大竹林、放置竹林、管理竹林の定義は、下記 の通りです。
拡大竹林：棚田状地形でない竹林。
放置竹林：棚田状地形に分布しており、かつ樹高が15m以上のもの。
管理竹林：棚田状地形に分布しており、かつ樹高が15m未満のもの。
N
W
E
S
0
0.25
0.5
1 km

現存植生図

１-４森林整備構想作成の背景

このように、西山の森は、社会的に非常に重要なものであり、防災機能や水源涵養機能やレクリエーション空間としての機能など多面的な役割を担ってきました。しかし、以下のような要因から、森林を取り巻く状況は、大きく変わりつつあることがわかってきました。

- **社会情勢や生活様式の変化などにより、放置された森林が増加**
- **作業道など、森林の手入れや利用のための基盤不足**
- **世界から国、都道府県、市町村レベルへ生物多様性保全機運の高まり**
- **「マツ枯れ」の進行、「ナラ枯れ」の発生**
- **シカ、イノシシによる森林被害の拡大（生息密度、採食圧の強度の増加）**
- **放置された竹林が森林へ侵入し、森林の荒廃化が拡大**

…これらが、森林植生に、次のような影響を及ぼしています。

影響１…森林空間機能の低下

人為的影響が大きい二次林や、マツ枯れ跡、ナラ枯れ跡の林などが放置された箇所では、部分的に次のような問題が起こることが予想されます。

- **林の中が暗くなり過ぎて林内植生が減少**
- **水源涵養機能の低下**
- **動植物の生息･生育空間としての機能が低下**
- **森林景観が悪化**
- **基盤としての土壌を保全する機能の低下**
- **豊かな農地を支える機能の低下**
- **ソヨゴやアラカシなどの常緑樹の遷移により、限られた樹種だけが繁茂して、貧相な植生になる**

※ 遷移とは…生態学用語で、一定場所の生物集団、ことに植物の群落が次々に構成内容を変えて、最終の安定状態（極相 climax）へと移っていく過程。

影響２…放置竹林の拡大

もともとは森林植生が生育していた部分にまで竹が拡大して、多様な郷土樹種が減少している部分もあります。竹が必要以上に拡大しすぎれば、森林が持つ水源涵養機能の低下や、急傾斜地における土砂災害の危険性の増加、種の多様性の減少など様々な問題が懸念されます。

影響３…「望ましい植生」の減少

いわゆる「里山」の植生が持つ幅広い機能などは、人の手による適正な利用や働きかけが無ければ低下し失われてしまいます。森林や竹林が急激に放置されはじめたことで、このような美しく恵み多い「望ましい植生」が減少しています。

１-５森林整備構想の改定について

長岡京市の貴重な緑の資源であり、京都･大阪の都市近郊にあって豊かな自然環境を保全できる希少な西山の森林を、森林所有者･地域住民･環境団体･企業･学識経験者･行政などの関係者が連携して整備することにより、緑の保全をはじめ、水源の涵養、災害の防止、生物多様性の確保、望ましい景観やレクリエーション空間の形成、地球温暖化の防止など、森林の持つ多様な機能を高度に発揮させ、美しく良好な環境の創造に資することを目的として、見直しを実施します。

また、平成１８年２月の構想策定以降、様々な事業に取り組み成果を挙げてきました。具体的には次のとおりです。

①２０年間で約３４３ｈａ(令和７年３月末現在)の森林整備を実施。
- ・人工林ではすでに２回目の間伐を実施。
- ・重複を除いた整備面積は、約２４９ｈａ(西山全体の約３２％)

②森林整備の実施により、温室効果ガス吸収量の計算を毎年依頼。

③拡大竹林維持管理事業等の実施により、放置竹林の森林への拡大を防止。

④利用間伐の実施により長岡京市産木材の搬出及び利用。さらに、利用間伐事業のコスト削減を検討。

⑤長岡京市産木材の利用促進のための調査を実施。長岡京市において「長岡京市産木材の利用促進に関する基本方針」の策定。

⑥天然林(広葉樹林)での伐採、利用、更新、保育という循環利用の検討。

⑦「西山ファミリー環境探検隊」「市内小中学校との連携」等環境教育活動の実施。

⑧「森林ボランティア養成講座」「森林ボランティアイベント」「西山ふれあいワークショップ」等森林ボランティア育成・普及啓発活動の実施。

⑨継続的な環境調査を鉢伏林道沿いで実施。

⑩参画企業及び団体の増加。

１-６森林整備構想改定の方法

西山森林整備推進協議会ワーキング会議において検討を行うとともに、必要に応じて、現地検討会や植生調査などを行います。また、適宜、地元説明会や広報等を積極的に行い、幅広い理解を得ながら、意見や情報を集めて森林整備構想を取りまとめます。

さらに、これまで進められてきた森林整備やこれから実施する森林整備の経過を踏まえ、新たに見えてきた問題点について、必要に応じて見直しを進めます。

１-７森林整備構想の対象

長岡京市内の、西山一帯の森林区域（約７７４ｈａ）を対象とします。

２森林整備計画

２-１森林整備の目標

「美しく、楽しく、健全な恵みの森」を保全育成します

１）山麓部や入り込みの多いところでは…
西山の緑の恵みを享受できる里山林へ

・ 十分な間伐や枝打ちがなされ、
資源循環利用の見本となるスギ･ヒノキの造林地
・ 維持管理がいきとどいた美しい竹林
・ 落葉広葉樹主体の明るく恵み多い里山林
・ 鳥の餌木や、実のなる木の多い林
・ 花木（西山在来種）が多い遊歩道
・ 環境学習の場となる豊かな森林生態系を保全育成

２）山の奥地では…豊かな自然の山へ還していく

・ 鳥や蝶や野生動物などの豊かな生息環境となる植生
・ 防災面、景観面に配慮したスギ･ヒノキの造林地
・ 水辺の多様な植生、豊かな水源林
・ 尾根部の適地では、松林の維持、保全

２-２森林整備計画

森林整備の実施に賛同いただける森林所有者と幅広い主体が協働して、具体的な森林整備計画を作成し、整備をしていきます。

１）森林の有する多面的機能を発揮させるヒノキ･スギの森づくり計画

森林は、水源の涵養、土砂災害の防止、木材生産の保全など、極めて多くの多面的機能を有しています。すでにヒノキやスギの植林地になっているところで間伐が手遅れになると、森林が本来もっている多面的機能が損なわれる恐れがあります。

山麓部や入り込みの多いところでは、計画的な間伐や枝打ちなどの手入れを行い、木材としての利用の促進を行うとともに、豪雨等による災害の拡大を未然に防止する観点から、搬出間伐を推進することとし、森林資源循環利用の見本となるような健全で美しい人工林の育成と活用を行います。

一方、伐採した材の搬出が困難な山の奥地では、野生の動植物の生息環境の保全に配慮するとともに、林内に残す伐採木については、必要に応じて枝払い・片付け・土留めを実施することとし、土砂災害の防止や景観に配慮した人工林の育成を進めます。

いずれの場所においても、基本的には下層植生が入ってくるよう光環境を改善することとし、森林の状況によっては地権者等との協議の上、下層に広葉樹を伴った針広混交林又は複層林を目指します。

すでに針広混交林化している森林については、大学等関係機関と検討し、今後の整備方針を決定していきます。

また、人工林は協議会発足から１度目の間伐が終わり、次の間伐期を迎えるとともに平均林齢も協議会発足当初の３３年生から５５年生となり、搬出し、利用できる状況になってきました。このため、搬出のコスト削減を図りながら積極的に木材を搬出し、利用を推進します。

２）二次林における立地条件や利活用面を踏まえた豊かな森づくり計画

西山における二次林については、アカマツ林とコナラ林を主要群落とする森林が大面積を占めています。これらの森林の将来予測、立地条件や利活用面などを踏まえた上で、それぞれの条件に応じた多様な森づくりを行います。

アカマツ林を主要群落とする二次林については、ソヨゴが次世代木として出現しており、将来的にソヨゴ主体の森林に遷移することが予想されます。

乾燥する尾根や斜面上部のアカマツ林については、ソヨゴの遷移を止めアカマツ林として現状を維持させる整備を行うとともに、アカマツのほか、コバノミツバツツジなどの乾燥に強い樹種を主体とした明るい景観の森林を目指します。

マツ枯れが進行し、常緑広葉樹が優占化している林分では、ソヨゴの遷移を受け入れつつ、一定の地域では景観木や、鳥や蝶の餌木となる樹木を残し、多様な樹種がまんべんなく残るような整備を実施します。

コナラ林については、次世代木として、ソヨゴが出現している森林とアラカシ、ヤブツバキが出現している森林があり、将来的にソヨゴ主体、またはアラカシやヤブツバキ主体の森林に遷移することが予想されます。

入り込みの多いところのコナラ林については、ソヨゴ、アラカシ、ヒサカキなどを除伐して、コナラ類を主体とした林床植生の発達や多様化を目指した整備を行うとともに、材の搬出が可能な森林では、できる限り材を有効に利用するよう材の搬出を推進することとします。なお、カシノナガキクイムシによるナラ枯れが発生した森林では、ナラ枯れ後の植生の変化を調査、把握した上で、整備の方針を決定することとします。

遷移が進行し、常緑広葉樹が優占化しているアラカシ林などの林分については、次世代木の遷移を受け入れつつ、一定の地域では多様な樹種がまんべんなく残るような整備を実施します。

これまで、ソヨゴ・カシ類・シイ類等の常緑広葉樹の高木を中心に伐採し、ナラ類等の落葉広葉樹の森づくりに取り組み、一定の成果をあげてきました。

今後さらに、西山における二次林が、人が定期的（１５～２０年）に伐採、利用、更新を行うことにより維持管理されてきた森林であることから、このことを踏まえた天然林改良を森林所有者の同意を得たうえで実施していきます。

３）美しく趣き深い西山の竹林を保全育成する計画

西山の竹林産業は、長岡京市の伝統産業であり誇りうる地場産業です。孟宗畑では、京都式軟化栽培法による肥培管理が行われ、京のブランド野菜の一つである京タケノコが生産されてきました。また、日本建築に使われる竹材の生産も伝統技術を継承しつつ行われてきました。しかし、生活様式の変化等に伴い、あるいは後継者不足に陥り、一部の地域で竹林や周辺の森林が放置され荒廃化が進んでいます。

これらの放置竹林を、森林組合などのプロの力や、市民ボランティアの力を借りて整備します。この事業は、西山の保水力を高め、可能な区域では京都式軟化栽培法を継承発展させます。さらに、竹産業の発展および竹の美林としての景観を復活させることにもなります。

一方、人工林や二次林へ侵入する竹については、現状より拡大させない、密度を増やさないよう整備を進めるために、竹林維持管理事業等を実施し、一定の成果を上げてきました。今後この事業を継続するとともに、拡大した竹林を面的に伐採し、天然更新を促進することにより、元の森林に戻すことを積極的に実施します。

また、表土崩落の危険性が高い急傾斜地における竹林についての整備も早急に実施します。

４）獣害対策の計画

近年、西山ではシカ、イノシシによる森林被害が増加しています。その被害により森林の更新や土壌保全、生物多様性保全の観点から、森林の果たすべき機能に大きな影響を与えています。

この現状を踏まえ、守るべき植生がある森林について、必要に応じて防護柵の設置、シカに食べられにくい不嗜好性植物の植栽をし、特定鳥獣保護管理計画等に基づきシカ、イノシシが適正な頭数となるよう個体管理に取組んできました。

また、既存の金網柵の修繕・嵩上げの維持管理等を実施しました。今後被害の状況に応じて、獣害対策を推進していきます。

５）防火帯の設置計画

森林火災の被害を最小限にするため、防火帯の設置を検討します。

６）木竹資源の利活用計画

間伐や除伐により発生した木材や竹材については、以下のような手法で、できる限り有効に利用するよう努めるとともに、資源循環利用の仕組みづくりを推進します。

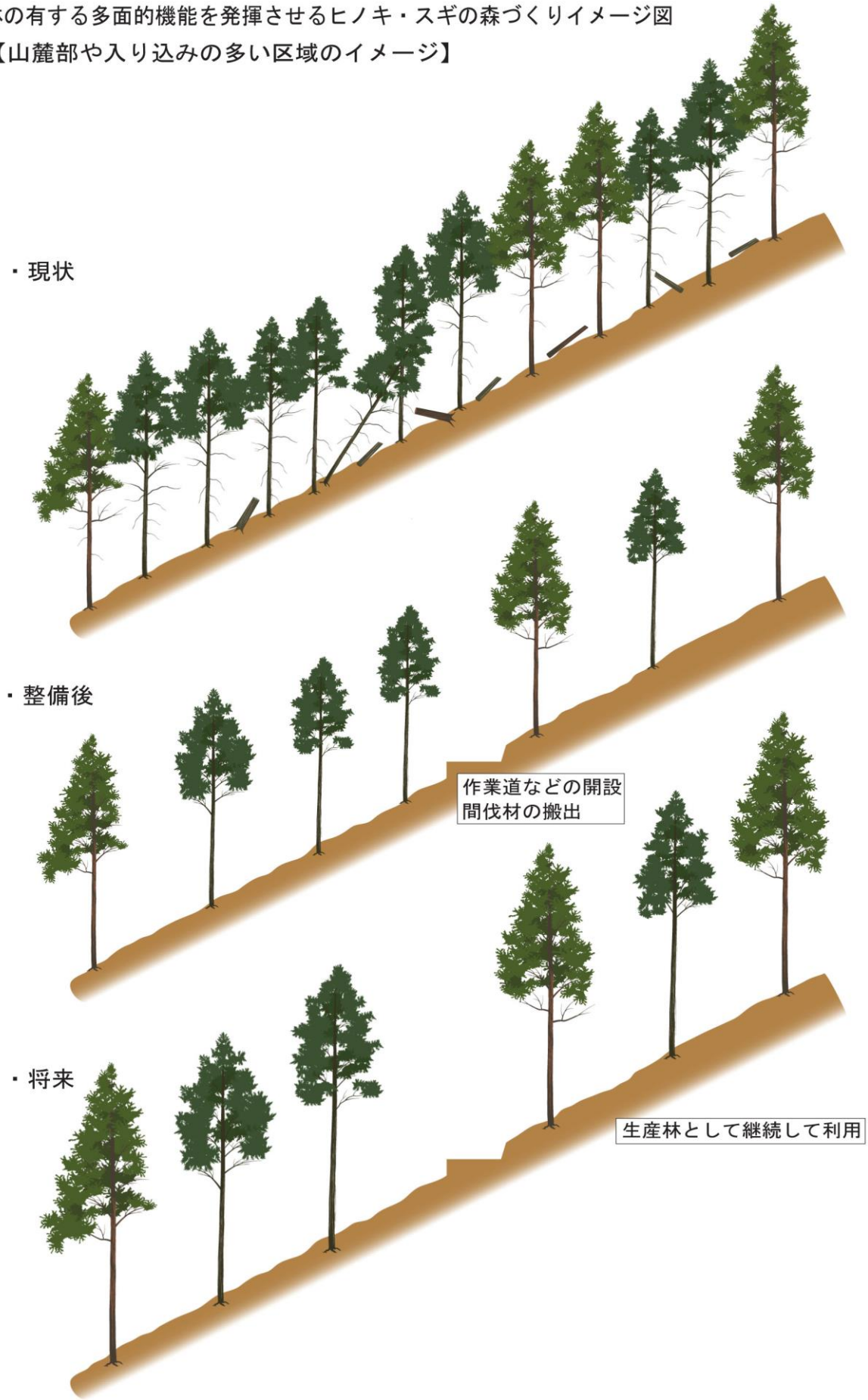
資源有効利用の障壁となっているのは「搬出」の困難さです。これを軽減するため、作業道など搬出のための基盤条件を十分に整備し、材の利用サイクルにおける搬出の効率性･経済性を向上させます。

また、長岡京市産木材の利活用について、当協議会が２０２２年に実施した「長岡京市における森林整備から木材利用に係る環境貢献等調査」により、長岡京市産木材を利用することで、一般流通木材を利用した場合と比べて、２．７倍の経済効果、６０％の温室効果ガス削減が図れることがわかりました。この結果とともに長岡京市が策定した「長岡京市産木材の利用促進に関する基本方針」に基づき、公共建築物等での内装材、調度品、薪などへの利用を推進します。

また、竹材の利活用については、現状では、竹炭、チップ、土壌改良剤等への利用が進められていますが、今後、整備を推進するにふさわしい方途、装置づくりに努めます。

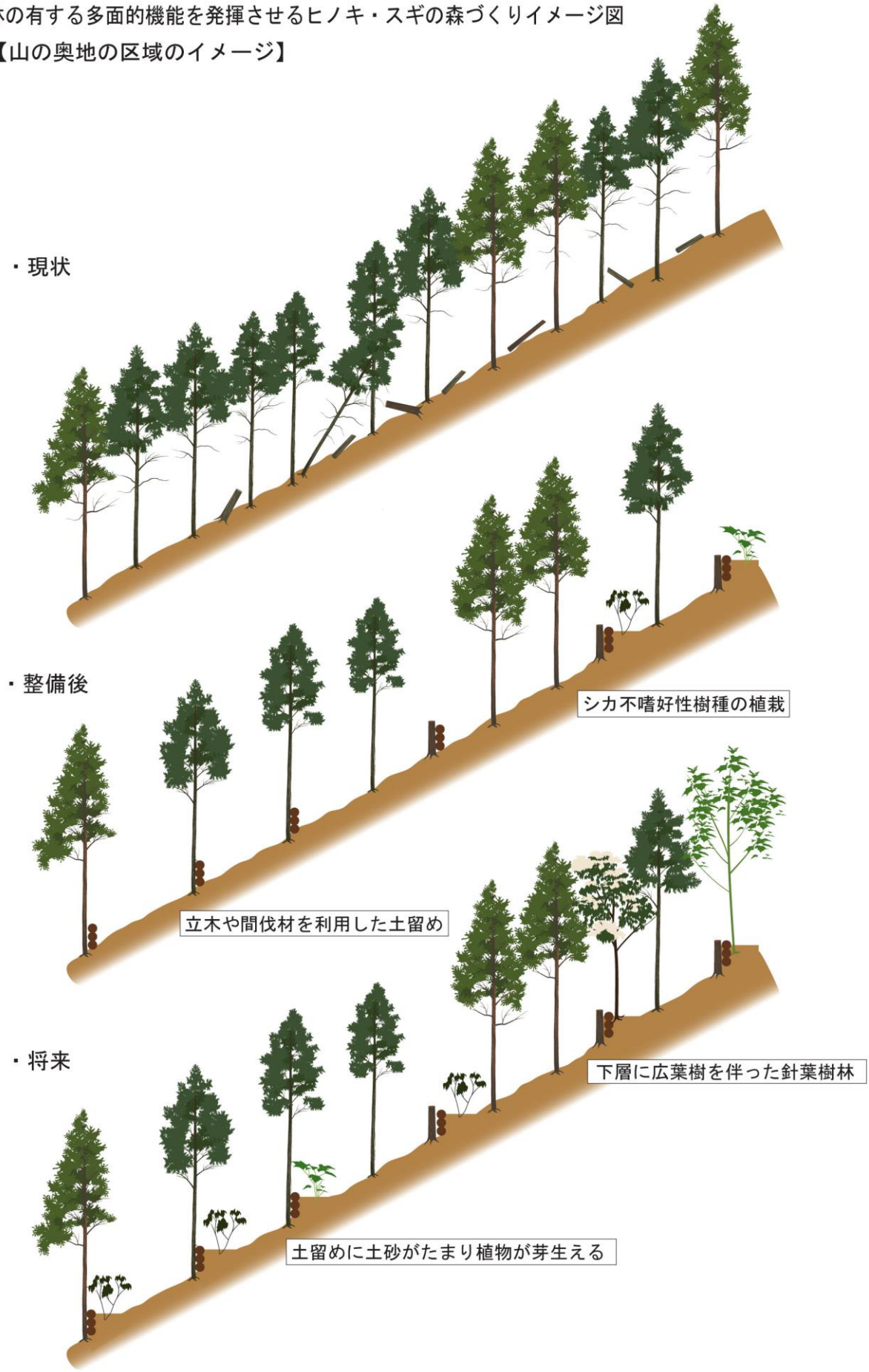
森林の有する多面的機能を発揮させるヒノキ・スギの森づくりイメージ図

【山麓部や入り込みの多い区域のイメージ】



森林の有する多面的機能を発揮させるヒノキ・スギの森づくりイメージ図

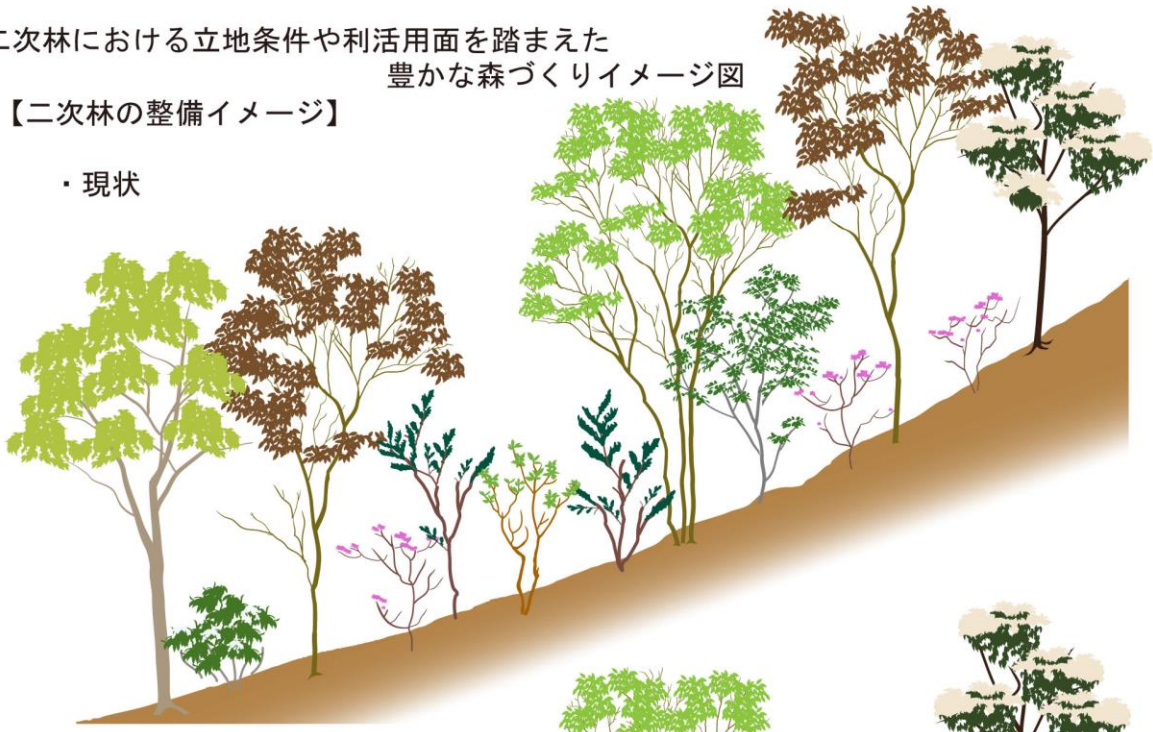
【山の奥地の区域のイメージ】



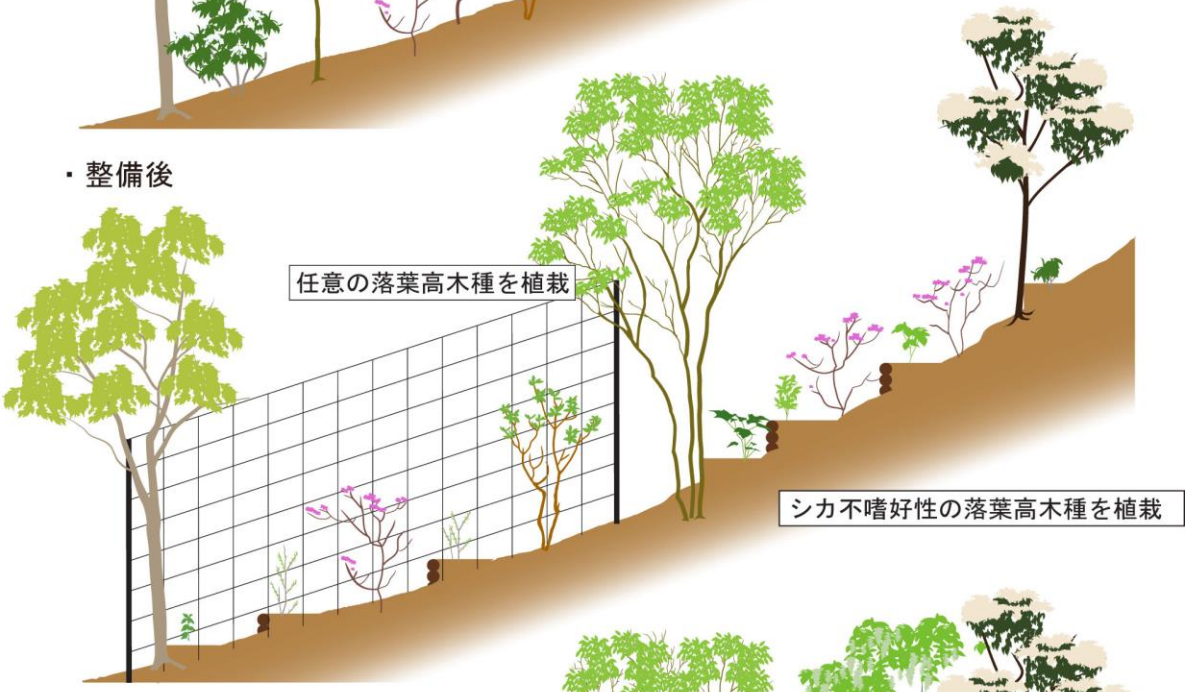
二次林における立地条件や利活用面を踏まえた
豊かな森づくりイメージ図

【二次林の整備イメージ】

・現状



・整備後

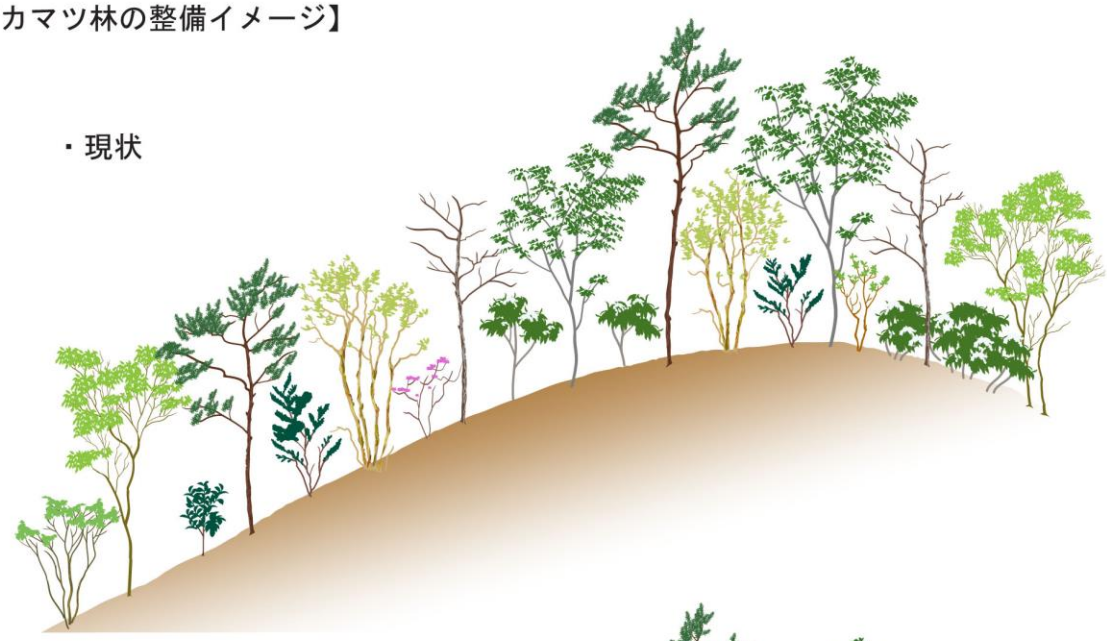


・将来

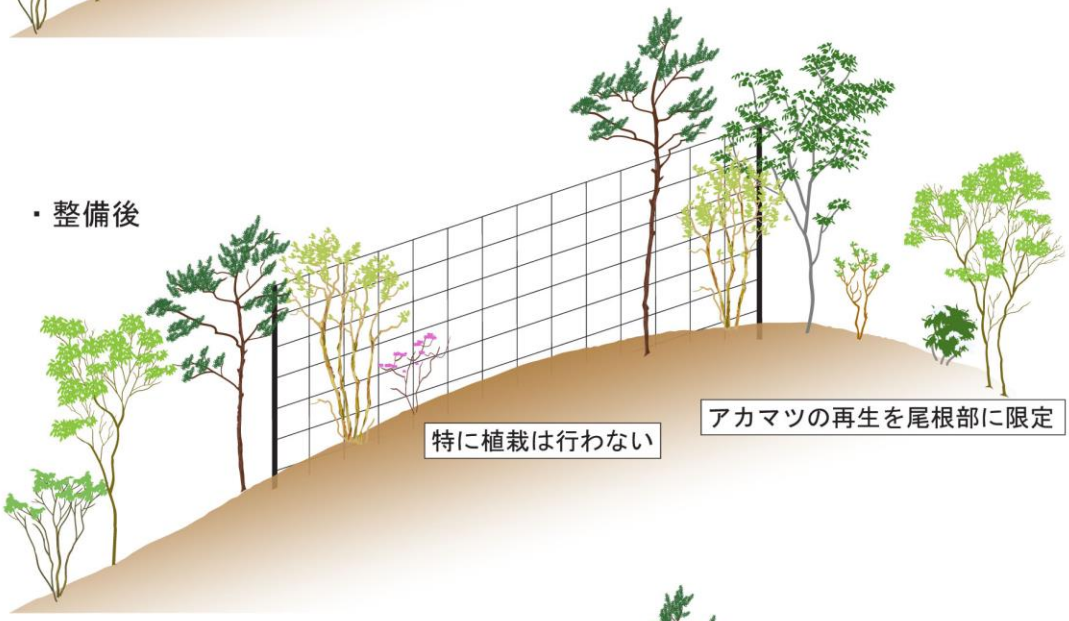
二次林における立地条件や利活用面を踏まえた豊かな森づく りイメージ図

【アカマツ林の整備イメージ】

・現状



・整備後

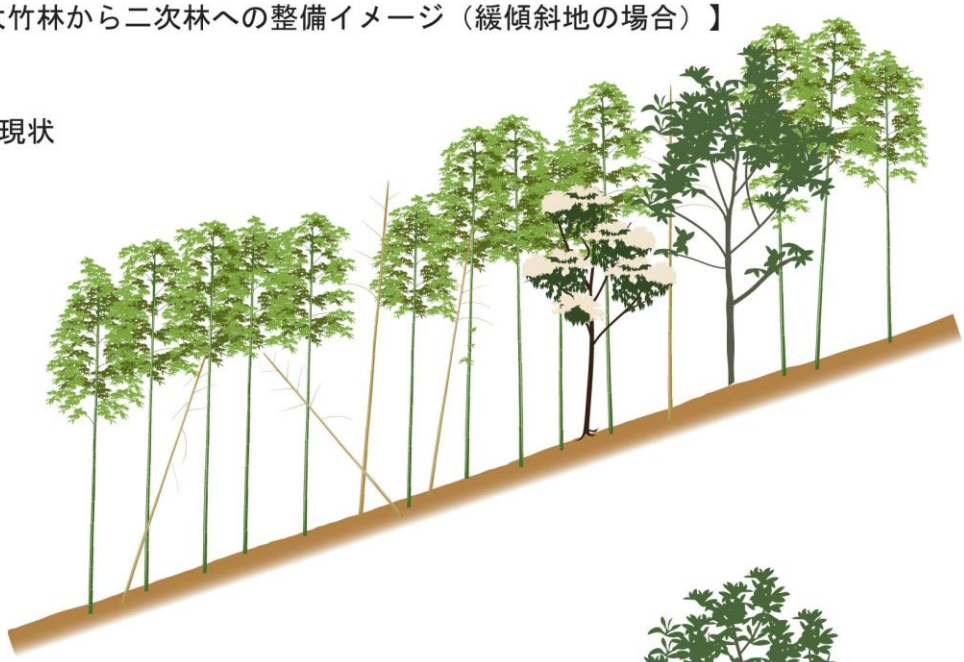


・将来

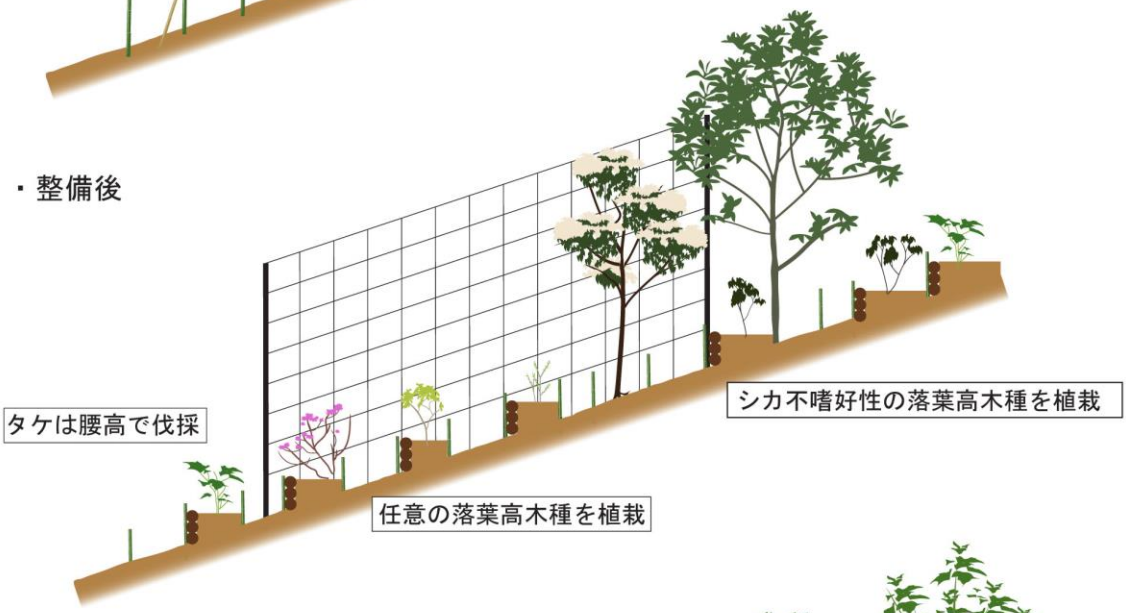
美しく趣深い西山の竹林を保全育成する区域　イメージ図

【拡大竹林から二次林への整備イメージ（緩傾斜地の場合）】

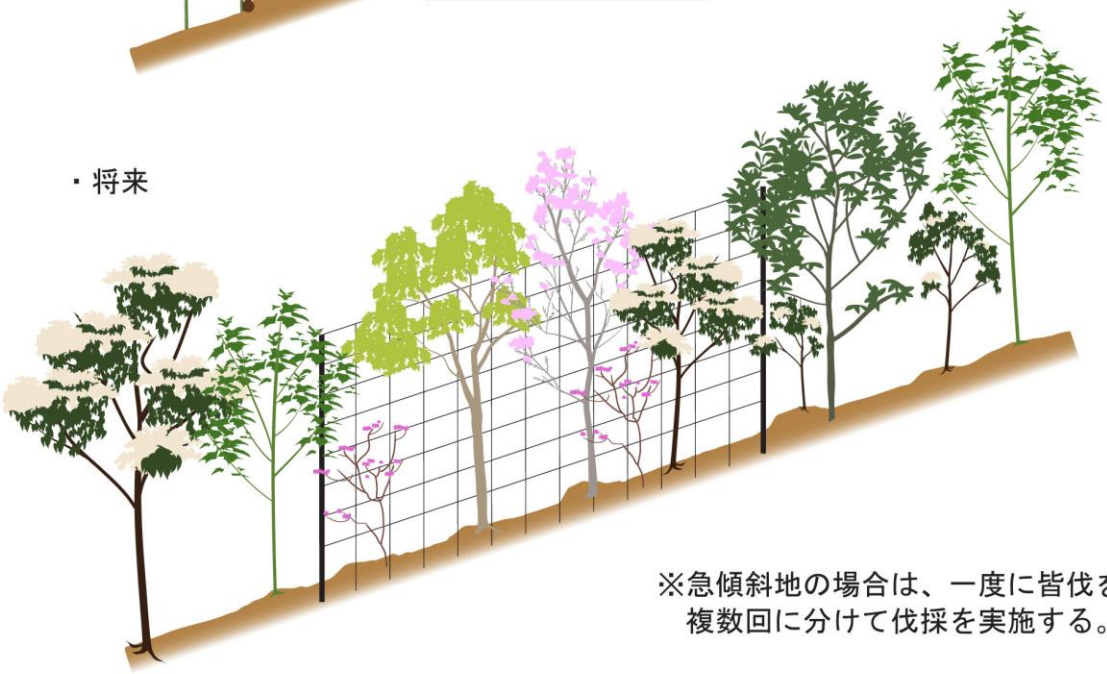
・現状



・整備後



・将来

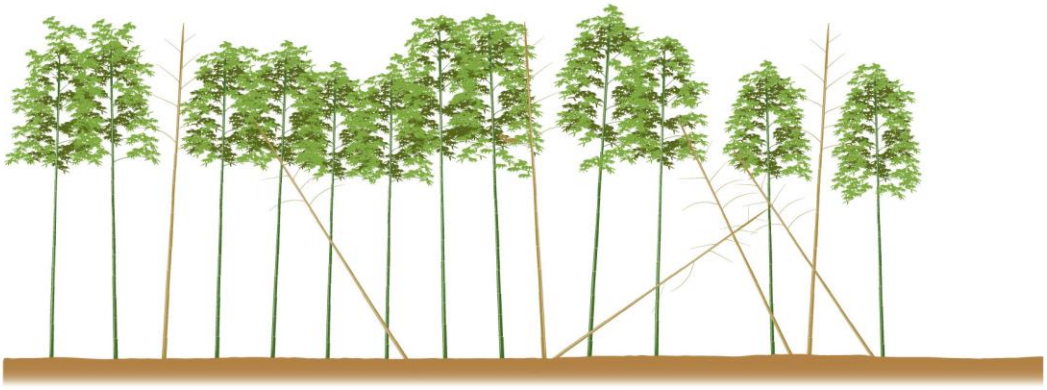


※急傾斜地の場合は、一度に皆伐をせず
複数回に分けて伐採を実施する。

美しく趣深い西山の竹林を保全育成する区域　イメージ図

【放置竹林の整備イメージ】

・現状



・整備後

・将来

２-３基盤整備計画

１） 作業道･林道の整備

西山の森を、望ましい自然環境として守り育てていくためには、以下のような理由で、計画的な作業道･林道などの基盤整備を継続的に行うことが必要です。

・造林や間伐や枝打ち等の円滑な推進
・将来の木竹材搬出や間伐材の利活用など資源の循環利用に必要不可欠
・ボランティア活動の拡大にも有益

ただし、計画や工事に当たっては、周辺環境や動植物などへの影響について配慮し、希少な自然環境の保全に努めます。また、作業道の整備により不法投棄が増加する恐れがあるため、そのための対策を講じます。

２） 遊歩道の整備

林道と接続した遊歩道を整備し、その両側に花や実のなる木の植栽を行うなど、森の魅力をアピールできる空間づくりに努めます。神社･仏閣をつなぐ「竹の径」などについても検討していきます。

３） 西山の森の保全や利用の拠点としての施設整備

西代里山公園や管理棟(ホタルの家)を、西山の森の保全や利用の活動拠点として有効に活用できるように検討していきます。

４） 環境保全基盤の整備

施設の整備や森林整備の実行にともない、野生動物や昆虫、希少な植物や自然環境などの保全をはかるため、ボランティアや学術研究機関による植生調査の標準地確保や、生態観察のための施設やエリアを設けるなど、環境保全のための調査や確認や検証などの継続的な実施を行うモニタリング体制の基盤づくりに努めます。

２-４環境教育（次世代教育）の場としての整備計画

１）西山森と水の学校

重要な水源林である西山の姿を代表的に伝えられるようなスポットにおいて、森林の状態を観察し、望ましい森の姿について考察を行えるような森林空間を創出します。

具体的には、植物や野鳥など多様な自然生物や、水源などを観察できるエリアを設けます。

・環境教育の場としての整備
　▹西山ファミリー環境探検隊
　▹小学校の環境教育

２）西山キャンプ場周辺の整備

比較的傾斜が緩い森の中で、森のミュージアム、冒険の森など、楽しみながら自然と触れ合うレクリエーション空間を創出します。また、カブトムシの森、オオムラサキの森など、昆虫たちがいきいきと暮らす森づくりを目指します。

３）里山施業体験

集落や道に近くて、入り込みが容易な二次林や人工林、竹林において、間伐や下刈りなどで明るく維持された里山林の施業を体験できるエリアを確保します。

・さまざまな主体による森づくり活動
　▹京都モデルフォレスト運動
　▹森林ボランティア行事
　▹ボランティアの養成

４）里山の観察・記録

多様な自然環境を幅広く安全に体験し観察できるように、できる限り自然環境に影響の少ない遊歩道や観察･休憩施設などを整備するとともに標識や案内板なども設けて、自然の観察や記録を補助します。

・環境調査
　▹モニタリング1000里地調査など

２-５ 広報・啓発活動

１）住民活動を促進するための啓発活動

西山への住民の関心を高めるとともに、森林保全活動に関わる人を増やすために、西山森林整備推進協議会で活動を実施している組織の取り組み紹介や、意見交換等を行う機会を作ります。

具体的には次の取り組み等が考えられます。

▹西山ワークショップ等の開催、各種イベントでの西山コーナーの設置など

２）広報活動

西山森林整備推進協議会の活動、森林整備の推進状況、市内産木材の利用状況などを広く市民へ広報活動を実施します。

この広報活動は、西山森林整備推進協議会の事務局、協議会委員及びワーキング会議委員が可能な範囲で行っていきます。

具体的には、次の活動が考えられます。

▹当協議会及び長岡京市ホームページ、ＳＮＳ、広報誌などによる情報発信
▹森林所有者への情報発信（(仮)西山協議会だより）
▹各種イベントへ参加した時にパネル展示、パンフレット配布等を実施
▹西山森林整備推進協議会活動以外の場で、機会があれば情報を発信

３実行への手順

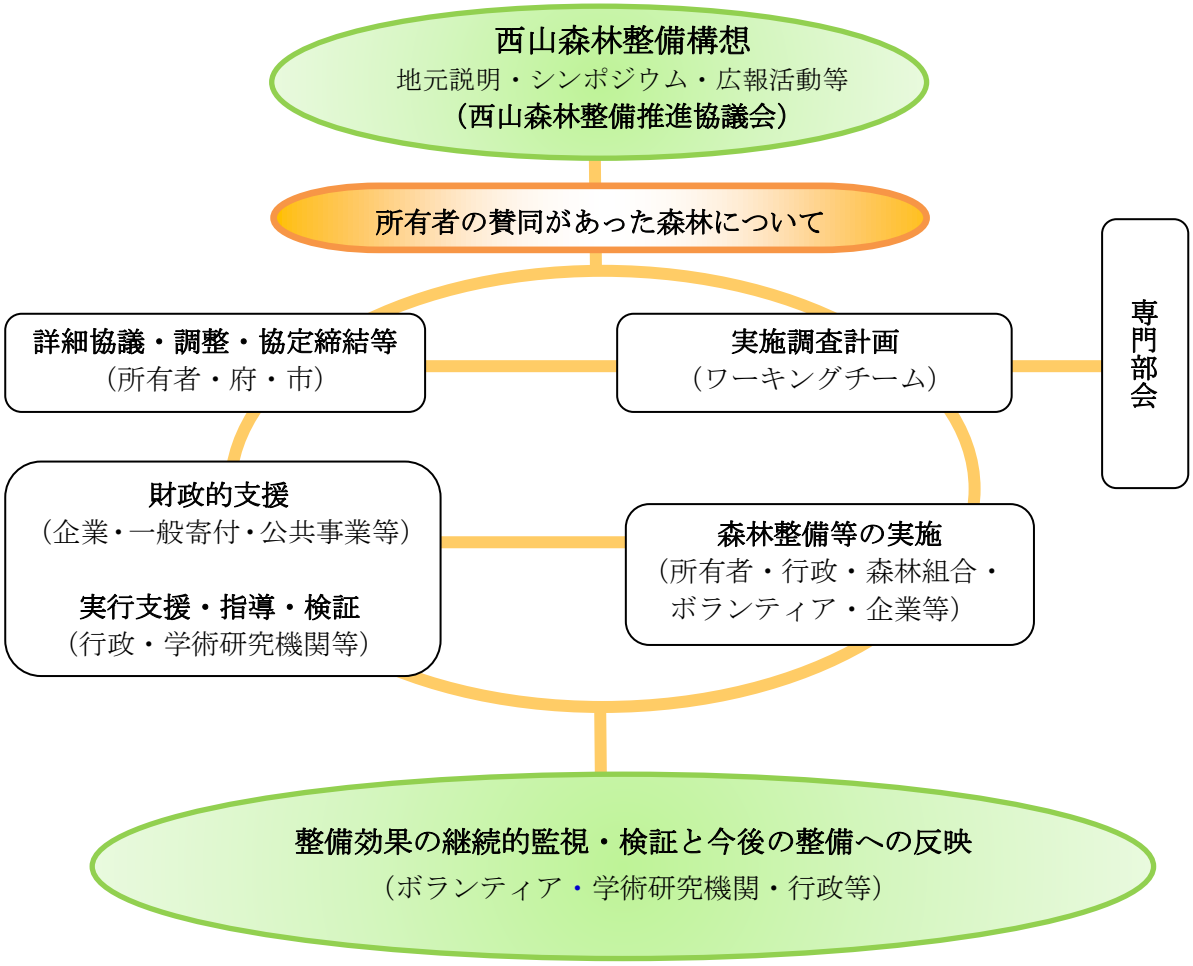
事業の実行は、賛同いただける森林所有者と幅広い主体が協働して行います。

協議会が設けたワーキングチームによって実施計画を作成し、森林所有者と府及び市が詳細を協議しつつ森林の整備を実行します。

具体的な実行形態としては、次の方法が考えられます。

①森林所有者の同意のもと、市･企業･団体等が森林組合等へ委託して、実行する。
②森林所有者の同意のもと、ボランティア･ＮＰＯ・企業(社員)等が実行する。
③森林所有者が実行する。

森林整備実施の流れ図


西山森林整備構想
地元説明・シンポジウム・広報活動等
（西山森林整備推進協議会）
所有者の賛同があった森林について
詳細協議・調整・協定締結等
（所有者・府・市）
実施調査計画
（ワーキングチーム）
専門部会
財政的支援
（企業・一般寄付・公共事業等）
実行支援・指導・検証
（行政・学術研究機関等）
森林整備等の実施
（所有者・行政・森林組合・
ボランティア・企業等）
整備効果の継続的監視・検証と今後の整備への反映
（ボランティア・学術研究機関・行政等）

４役割分担

主　体	役　割
協議会・ワーキング	**森林整備構想・計画の立案** **「西山の森づくり」の推進母体** 啓発活動 参画企業への事業依頼 ボランティア団体への活動依頼 森林整備事業の実行管理・検証・監視等 実績のとりまとめ
行政	**協議会の事務局** 広報誌等による住民・企業・ボランティア等への周知・参加募集 協議会からの文書の住民・地権者等への配布 企業・団体等からの支援窓口 公共事業の導入 地権者からの実施依頼の取りまとめ 事業地の地権者の同意取り付け（協定締結） 森林組合等への事業発注 **ボランティアの育成**
森林所有者	**構想に沿った森林整備の実施または森林整備事業への協力** 市・企業・ボランティア団体への事業・活動同意（協定締結） 事業（活動）地の境界確認 ボランティアへの森林整備技術の指導 森林整備の実行
企業	**調査計画・実施費用・資源の利活用等への支援** **イベント・広報活動等の支援** **ボランティア活動の実施**

主　体	役　割
森林組合	**森林整備作業の実施** 地権者からの受託による森林整備の実施 行政・企業等からの受託による森林整備の実施 **ボランティアへの森林整備技術の指導**
ボランティア団体等	**協議会・ワーキングへの参画・助言** **森林整備実施への協力** 調査の実行 **個人参加ボランティアの指導**
市民・府民等	**森林整備への協力・人的支援** 地域の情報等の提供 ボランティア・企業等との交流 駐車場確保等への協力 ボランティア活動への参加
学術研究機関等	**森林整備計画への支援と監視・検証・助言** 調査の実行、動植物・自然環境の保全保護対策への指導 計画の提案・助言 森林整備の内容や効果の検証 モニタリング

■西山森林整備推進協議会委員名簿

（令和 6 年 10 月 8 日現在）

所　　属	職	氏　　名
京都大学フィールド科学教育研究センター	教授	徳地　直子
サントリーホールディングス㈱　サステナビリティ経営推進本部（地域共創）　天然水の森グループ	シニアアドバイザー	山田　健
長岡京市森林組合	組合長	藤井　昇二
長岡京市森林組合	副組合長	福西　一夫
奥海印寺財産区	議長	伴野　吉広
長法寺財産区	議長	藤下　良夫
柳谷観音楊谷寺	代表役員	日下　英晃
総本山光明寺	執事	大髙　義教
JA 京都中央農業協同組合	理事	藤井　俊一
里山再生市民フォーラム	代表	吉岡　洋
みどりの会・西山	代表	田村　治夫
長岡京市ゲンジボタルを育てる会	会長	岡　　正樹
兵庫県立大学　自然・環境科学研究所	名誉教授	服部　保
京都府山城広域振興局	副局長	中島　貴史
京都府京都林務事務所	所長	岩本　佳子
長岡京市環境経済部	部長	硲　　恵
長岡京市教育委員会教育部	部長	中島　早苗

■西山森林整備推進協議会ワーキング委員名簿　（令和 6 年 10 月 8 日現在）

所　　属	職	氏　　名
京都大学フィールド科学教育研究センター	教授	◎徳地　直子
ｻﾝﾄﾘｰﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ㈱ ｻｽﾃﾅﾋﾞﾘﾃｨ経営推進本部（地域共創） 天然水の森ｸﾞﾙｰﾌﾟ	シニアアドバイザー	山田　健
ｻﾝﾄﾘｰﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ㈱ ｻｽﾃﾅﾋﾞﾘﾃｨ経営推進本部（地域共創） 天然水の森ｸﾞﾙｰﾌﾟ	課長	円谷　崇浩
ｻﾝﾄﾘｰﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ㈱ ｻｽﾃﾅﾋﾞﾘﾃｨ経営推進本部（地域共創） 天然水の森ｸﾞﾙｰﾌﾟ	担当部長	岩崎　良
サントリー㈱　ビールカンパニー　京都ビール工場	事務長	佐藤　英樹
長岡京市森林組合	理事	吉田　豊
長岡京市森林組合	理事	八田　祥二
長法寺財産区	議長	藤下　良夫
柳谷観音楊谷寺	住職	日下　英晃
JA京都中央農業協同組合	代表理事組合長	田村　義明
JA京都中央農業協同組合	理事	小野　洋史
JA京都中央農業協同組合	理事	藤井　俊一
NPO法人　乙訓の自然を守る会	代表	宮崎　俊一
NPO法人　乙訓の自然を守る会	会員	石井　寛子
NPO法人　乙訓の自然を守る会	会員	兼田　幹雄
NPO法人 おとくにパオ	理事	森口　和子
里山再生市民フォーラム	会長	吉岡　洋
里山再生市民フォーラム	会員	宮城　光夫
環境の都づくり会議	会員	加藤　克巳
NPO法人　長岡京市竹の学校	理事長	稲岡　利春
ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン ビジネス・コミュニケーション＆サステナビリティ	シニア・マネージャー	後藤　悠莉
㈱マツシマホールディングス	リスク・コンプライアンス担当	西浦　あかね
高野竹工株式会社	主任	東前　りさ
㈲長岡美装社	代表取締役社長	今井　孝一
エルセラーン化粧品㈱	教育部1％クラブ事務局長	辻野　訓司
（一社）森林計画センター近畿中国支部	技術参与	小原　正人
㈱里と水辺研究所	代表取締役	赤松　弘治
西田林業	代表	西田　浩之
京都乙訓ロータリークラブ	ロータリーの森委員会　委員長	斉藤　寛之
兵庫県立大学　自然・環境科学研究所	名誉教授	服部　保
山城eco木材供給協議会	会長	水山　芳之
公益財団法人　長岡京市緑の協会	事務局長	志水　忠弘
公益社団法人　京都モデルフォレスト協会	常務理事兼事務局長	仲間　司
京都府農林水産部 森の保全推進課	課長補佐兼係長	寺井　真三
京都府農林水産部 森の保全推進課	専門幹	島　純一
京都府京都林務事務所　林務課	課長	片山　達也
京都府京都林務事務所　林務課	技師	窪田　優一
京都府山城広域振興局（乙訓保健所環境衛生課）	技術次長兼環境衛生課長	飯田　貴久
長岡京市教育部　生涯学習課	課長	厚地　基子
長岡京市環境経済部	部長	硲　恵
長岡京市環境経済部　農林振興課	課長	浦松　良次
長岡京市環境経済部　農林振興課	主幹	鯉田　拓也
長岡京市環境経済部　農林振興課　西山森林整備係	係長	秋山　英司
長岡京市環境経済部　農林振興課　西山森林整備係	主事	宇野　萌葉
長岡京市環境経済部　農林振興課　西山森林整備係	主事	廣嶋　敬祐
長岡京市環境経済部　農林振興課　西山森林整備係	会計年度任用職員	中佐　昌弘
長岡京市環境経済部	参事兼環境政策監兼環境政策室長	山本　達也
長岡京市環境経済部　環境政策室　環境政策担当	主査	中村　のどか

西山森林整備推進協議会

電話　075-951-2121　　FAX　075-951-5410

メール　nourinshinkou@city.nagaokakyo.lg.jp

HP　https://nishiyama-shinrin.amebaownd.com/